# 超高齢化社会における近代医療と温泉の役割~生活機能支援、生きがいづくりとICT~

信川 益明

Masuaki Nobukawa, M.D., Ph.D. 日本健康科学学会理事長 健康食品認証制度協議会会長 医療法人社団千禮会理事長 元慶應義塾大学医学部教授

## 日本健康科学学会の目的

- 健康に関連する分野の専門領域の方々
- 現場で住民の健康を支えている関係者
- 健康に興味をもっている方々
- 学術大会への参加・活動報告
- 学会誌への論文発表
- 健康を科学的にとらえる
- 活動経験・研究・教育の情報交換
- 異なる専門分野間のコミュニケーション

## 日本健康科学学会の学術的な事業

1985年11月 第1回学術大会

1986年~ 国際講演会、フォーラム、

シンポジウム、講演会、分科会

1996年~ 研究奨励制度

2018年8月30日(金)~31日(土) 第34回学術大会

神奈川県歯科医師会館(横浜市)

鈴木 仙一 学術大会長

2019年 9月 第35回学術大会 (国立京都国際会議場)

上平 豊久 学術大会長

# 日本学術会議 協力学術研究団体

- 2000年7月
  - 第18期、第7部予防医学研究連絡委員会
- □ 2003年7月
  - 第19期、第7部予防医学研究連絡委員会
- □ 2006年10月 第20期、第2部生命科学
- □ 2009年10月 第21期、第2部生命科学

- 日本学術会議
- 科学者(研究者)の代表機関、日本学術会議法
- □ 内閣総理大臣の所轄、1949年1月設立

#### ヘルスプロモーション

健康意識、健康予防、健康に関する統計、健康増進:健康づくり、健康日本21、ライフスタイル、休養、余暇、生きがい、QOL、生涯教育、健康生活、セルフケア、ダンベル、不健康な生活、疲労、食欲、仕事、能力等、スポーツ医学、運動、生活習慣病予防:疾病予防、メタボリックシンドローム、肥満、骨密度、認知証予防等、精神保健対策:自殺予防、活動、気分、メンタルヘルスケア、心身医学、ストレス、テクノストレス、精神的健康、心の癒し、いじめ、児童虐待、家庭内暴力等

- ・健康と環境[気候, 熱帯, 気象, 高温, 低温, 高山, 宇宙, 環境, 森林, 海, 都市, 農村, 衣服, スポーツウェア, 廃棄物, リサイクル], 健康と芸術・旅行[音楽, 芸術, 絵画, 旅行等]、健康と災害・事故:交通, 鉄道, 航空, 船舶, 自動車, 家庭, 学校, 職場, スポーツ, 安全教育, 事故予防等2.健康産業
- ・健康食品 [サプリメント, 保健機能食品, 食品の機能評価・エビデンス, 特別用途食品, 特定保健用食品, JHFAマーク表示許可食品, 食品機能素材等], アンチエイジング医療 [老化機構, 老化防止等]
- ・リラクゼーション: 睡眠,音楽,音楽療法,読書,温熱,温浴,温泉,クアハウス,サウナ,入浴剤,アロマオイル等。健康機器:セルフチェック機器,セルフケア機器,生活ヘルス機器(健康寝具,ホームサウナ,温水洗浄便座,電動ハブラシ,健康肌着,住宅,椅子,机,浴槽:気泡),環境ヘルス機器(空気洗浄器,加湿器,除湿器,浄水器,吸入器),体力ヘルス機器(トレーニング機器,フィットネス機器・用具,万歩計,カロリー計,体力測定器),ビューティヘルス機器(美顔器,日焼器,痩身用機器,エステ機器),余暇ヘルス機器(家庭用工作機器,ゲートボール用品,ホームトレーニング機器,ダイビング,釣用機器),メンタルヘルス機器(疲労度測定器,リラックス機器,睡眠導入機器),リハビリ機器・在宅ケア機器,ヘルス情報機器(健康度評価システム,救急通報システム機器),ヘルスチェックサービス(骨密度,心電図,基礎代謝量,ストレス度,抹消血管血流状態,郵送検診等)等
- ・医療機器・福祉機器:電気治療器、磁気治療器、医療器具、福祉機器、医療・福祉工学、臨床工学、医用工学、評価、規格等。水・酸素関連:化粧品、美容液、浄水器、電解水生成器(アルカリイオン整水器)、水の機能表示、酸素水、酸素発生器、温泉水、水道水、ミネラルウォーター、水質基準等
- ・美容:美容, 化粧品, 美容液, 美容素材(コラーゲン, ヒアルロン酸等), 美容食品, マイナスイオン, ヨガ, エアロビクス, リフレクソロジー, マッサージ, タラソテラピー, ストレッチ, レーザー治療, 美容外科
- 3. 栄養:教育,子供,高齢者,管理,食事療法,NST,管理栄養士,臨床栄養師,食物アレルギー,食育
- II. 保健:地域,乳幼児,母子,老人,学校,産業,環境,保健師の役割,予防接種,国際等

III. 医療

・医療科学 : 社会構造と医療需要. 医

## 日本健康科学学会に求められているもの

- 次の世代、その先の世代に健康科学を引き継いでいくための基盤づくり
- 健康科学を志した人達が将来、健康科学を志して良かったと思う環境づくり
- 教育研究機関,住民の健康を支えている関係者に、学術大会、学会誌で発表頂き、活動経験・研究・教育の情報交換の場の提供
- 会員/住民への健康科学の普及活動を通じて、健康科学のアイデンティティーを社会に広める
- 住民の健康を支えている関係者,住民との健康に関するコミュニケーションを重視する,学 術的専門集団としての活動に重点を置くことにより,はじめて社会的にも学問的にも評価され,意見が尊重される
- 健康科学は日常生活の場から生まれ、生活の営みと共に今を生きている
- 住民から乖離して健康を科学的に捉えることはあり得ない
- 健康に関する学問が住民の日常生活に活用される環境づくりの取り組み

本学会のこれまでの繁栄は、会員各位のご尽力によるものと感謝いたします 更なる発展のために、皆様の今後のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします

## 日本健康科学学会事務局

株式会社大伸社内 (担当者:中村 順子)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-9-9

JR「千駄ヶ谷駅」下車徒歩8分、JR「原宿駅」下車徒歩9分

都営地下鉄大江戸線「国立競技場駅」下車A4出口より徒歩8分

東京メトロ 副都心線「北参道駅」下車 2番出口徒歩7分

URL http://www.daishinsha.co.jp/

Tel: 03-6863-3610 Fax: 03-3405-0653

E-mail: health-sci@daishinsha.jp (平日 9時~17時、土日祝祭日は休み)

## 人々の願い

## 健やかに、元気で、暮らしたい

悩み(問題)を解決したい

病気、けが

痛み(体の痛み:頭、頸、腹、背中、腕、肘、膝など)

便秘、下痢、肥満、痩せ、眼の疲れ、など

イライラする、やる気がしない、疲れやすい

#### 解決方法の模索

健康に関する情報:テレビ、新聞、友人、知人

正しい情報、利用、どこで、誰に、どのようにして

自分で判断できない

## 健やかに生きるためのアプローチの仕方

#### ポイント

人の生活とライフステージに合った社会システムの実現 産業(企業)、行政、学会、地域住民の理解・協力

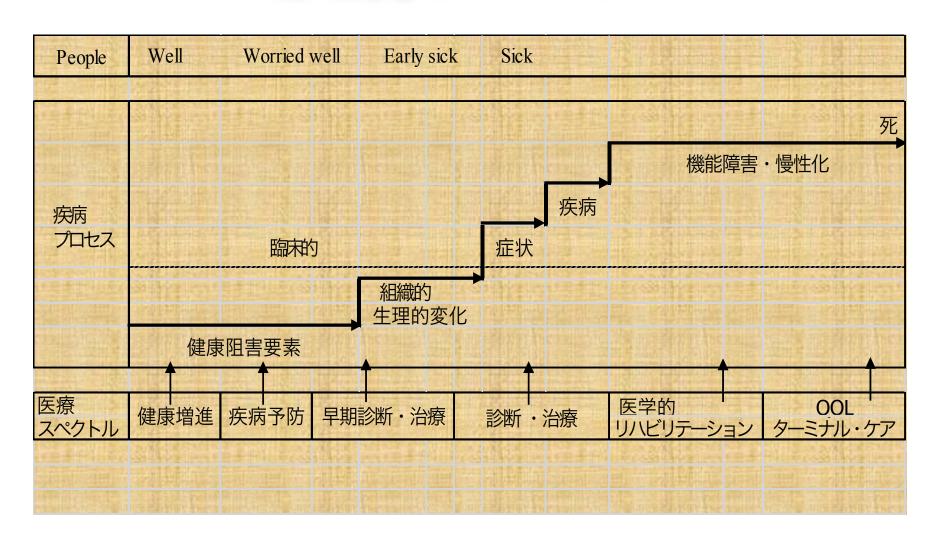
### 方法論

関係者の相互認識・理解の場を設定:学会、学術連合シンポジウム、セミナー、健康科学研修会等(共催)連携のロールモデル構築

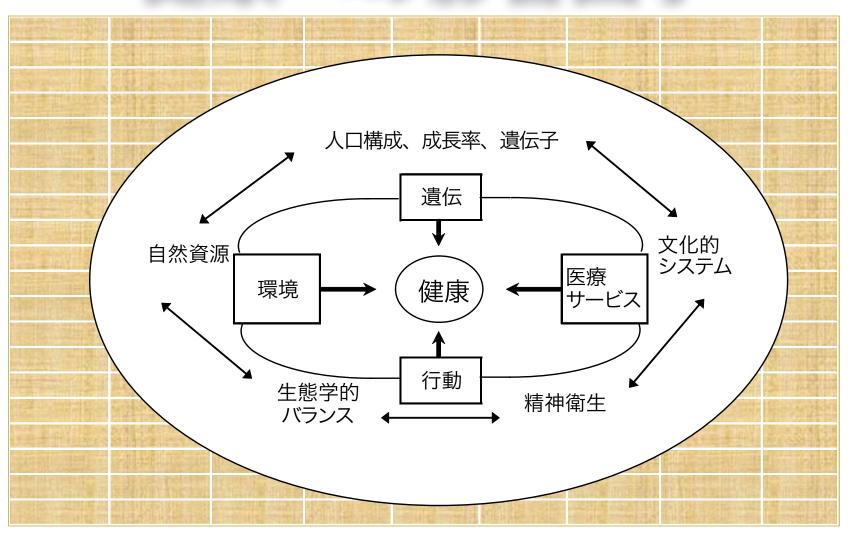
#### 実施例

衣食住に関する情報、地域医療連携、生活支援情報 スポーツ・体育・運動に関する情報、健康科学情報 栄養、健康産業(健康食品、健康機器、温泉、美容等)

# 疾病プロセス



# 健康への影響因子

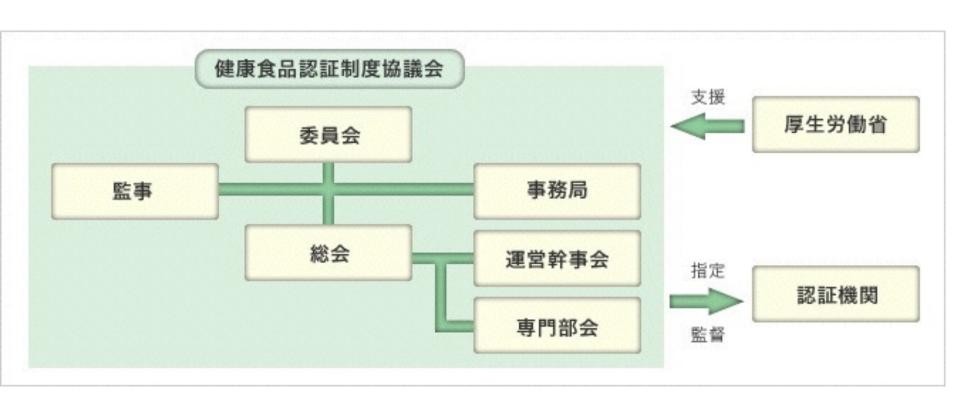


# 健康食品認証制度協議会の目的

健康食品認証制度協議会は、消費者に安全かつ安心な 健康 食品を提供することを通じて、消費者が健やかに生活できるこ とを目的に活動する。

健康食品の原料と製品を製造、販売する事業者は、消費者の健 康維持と増進に寄与する事業者としての倫理観を持ち、製造販 売する製品の品質と安全性の確保に努める必要がある。これを 実現するために当協議会は、健康食品の品質および安全性確保 のための認証制度として、原材料の安全性自主点検認証制度と GMP認証制度を有効に機能させること、および健康食品の品質 と安全性の重要性を消費者、事業者、関係機関等に啓発、普及 させることにより、消費者の健康維持・増進と製品選択の向上 に貢献することを目的とする。 12

# 健康食品認証制度協議会 組織



# 健康食品認証制度協議会

#### 安全性自主点検認証機関及びGMP認証機関

事業者以外の第三者による客観的な立場から、「安全性の自主点検」や「GMP 運用の確認」がなされることで実効性を確保します。

健康食品の製造段階におけるリスク発生防止には、GMP順守による安全性の確保が不可欠です。

健康食品認証制度協議会が指定する第三者認証機関は、厚生労働省通知に示されたGMPガイドラインに基づいて、事業者のGMP認証を実施しています。

#### 平成22(2010)年4月

安全性自主点検認証機関(日本健康・栄養食品協会)を指定

#### 平成26(2014)年

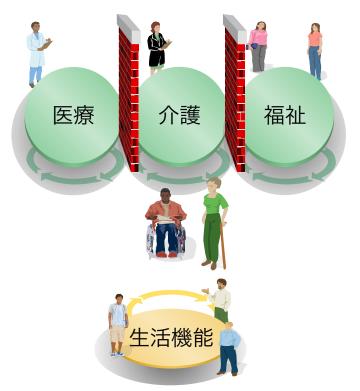
3月 GMP認証機関(日本健康・栄養食品協会)を指定 6月 GMP認証機関(日本健康食品規格協会)を指定

## セミナー・シンポジウム、指定認証機関連絡会

- ① 平成29(2017)年3月15日 ホテルグランドヒル市ヶ谷 健康食品の品質と安全性の確保の重要性~健康食品機能性表示制度等の信頼性に資する健康食品認証制度の在り方について~
- ② 平成29(2017)年9月15日 TKPガーデンシティPREMIUM神保町 日本健康科学学会第33回学術大会 特別シンポジウム 機能性表示制度の運用における課題解決に向けて
- ③ 平成30(2018)年2月2日 東京ビッグサイト 会議棟 日本健康科学学会健康フォーラム (健康博覧会2018併催) 健康食品の品質と安全性確保の考え方と課題解決に向けて
  - ~食品衛生規制の見直しの最新動向とHACCP導入義務化に向けた健康食品業界の対応~
- ④ 平成29(2017)年12月14日 ホテルグランドヒル市ヶ谷 指定認証機関連絡会

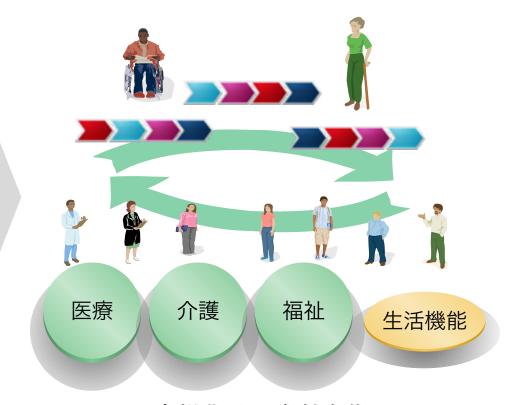
## 高齢社会の統合見守りプロセス基盤

#### <u>これまで</u>



個別提供、連携は限定的 それぞれの領域で専門化が進む サービス提供側の視点

#### 今後の高齢者対応



多様化する高齢者像 利用者視点で全てのサービスが調和 高齢者中心に全体最適

## 経済産業省地域見守り支援システム事業

●都市型居住環境:

新宿区は、日本を代表する近代的な大都市

●生活支援機能:

新宿区は多くの医療・介護資源、及び 食や運動、美容などの生活支援機能を有する。

●神楽坂:

都市型居住環境、商店街居住環境を併せ持つ地域。



独居高齢者が多い、他地域の団地建て替えに伴う転入を きっかけに居住環境、生活環境が急変する高齢者が多い。

●高齢者、高血圧症患者:

高齢者の60歳以上は61%、70歳以上は72%が高血圧症 独居・引きこもりは高血圧症が引き起こす疾病リスクを増大

●見守りコーディネータの育成:

高齢者視点の見守りサービス統合を担う人材の定義と育成





## 実証事業の実施体制



飲食店等向け高齢者レシピ開発

医療法人社団丹伎会

## ふれあいセンターとは

高齢者向けのサービス提供による引きこもり防止とサービスニーズの収集

(外出とコミュニケーションのインセンティブ)





#### 在宅ケア

(訪問看護ステーション、介護施設他)

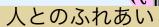


医療サポート、医療連携

#### 生活支援機能

(栄養、食品、運動、美容他)







イベント・セミナー



健康データ参照・更新



健康長寿トレーニング



健康メニュー提供



「ふれあいセンター」

讀賣新聞

(全国版)

かあった時に助けてくれる き合いはほとんどない。「何 過ごす。観度や近所との付

一個の7

○で暮らす町線の男性は、

東京都内のアバ

「ずっと独身を貫いて

日の大学をテレビを見て

じる」と話す。

人がいないのが不安」と話

着物で、和に興味持って

Story (Tr

んす屋で進んだ品を練列、販売

イベントでは各校ごとに、た

を入れている。

接する機会を増やしたい 少しでも外出して他人と

人の飼用があった(田口起新りのあーみれ高いセンター海巣でのあーみれ高いセンター海巣でのあーなれ高いセンター海巣での場にしている。

く、シルバー人材センター わってこない」と鳴く。 に登録して仕事を探すが 登録者が多くて仕事がま 千葉県に住む砂蔵の女性

上の高齢者のいる世帯は全会日番」によると、仏蔵以 体のも割に達するで 200の年限の「高齢社 0

きたが、年齢を重ねるに連 立して生きていけることの ら今の収入だけでは生活で 事がなくなり、最近はパー プロやパソコンの普及で仕 人にも不安を打ち明けられ きないが、恥ずかしくて友 目責があった。だだ、ワー かつてはタイピスト の仕事で食いつないでい 一人で暮らす不安を感 「一人で病気になった 「女性も一人で自

減る交流 る買い物難民

腹が大きくクローズアップは今年、「買い物難民」の間 付き合いも薄い。商齢者の家庭がいないし、近隣との された。消費の冷え込みで 必要なこと言う。 速での専門的な見守り策が 社会的孤立を助くため、地 が撤退し、車が運転で含な 中心市街地のスーパーなど 高齢者の困りごとの中で 高齢者が買い物に因るケ

ない」とうほす。

今月初めには、 都市部の

処会を発足させた。 業者は先月、高齢者の質い こうした事態に、経済経 スが相次いだ。 生活不安を抱える高齢者 手だでなのにと残念がる の強化は、孤独死から経済 係の再構築だ、求められて 的な困窮まで助ける重要な

我(健康科学)の信川益明さ んは、一人と人との助びつき を統括する慶応大医学部教 既は「廃止」の対象になっ ししまったのだ。 ふれあいセンターの事業 けたモデル事業が、来年 などの見守り支 「ふれあ

住にかかわる困り、とを発 りの話し相手になり、 ター神楽版しもオープン。 託を受けた「ふれあいセン
て、東京都新樹区に国の委 高齢者の孤立助止策とし ができる関係機関に知らせ 見する。その情報を、 栗仕分け」で、 元の主婦らが訪れたお年寄 センター った。行政刷新会議の 個や「質い物酸氏」解消し しは思わぬストップもか ただ、こうした取り組む \ 必要なサービスを提供 盗 衣食

%)で過年数を占める。

(23%)と夫婦のみ世帯(30 力技術。このうち単身世俗

実施を調査する明治学院大

教授 (地域器社論) の司合

面りごとがあっても倒れる

近隣との

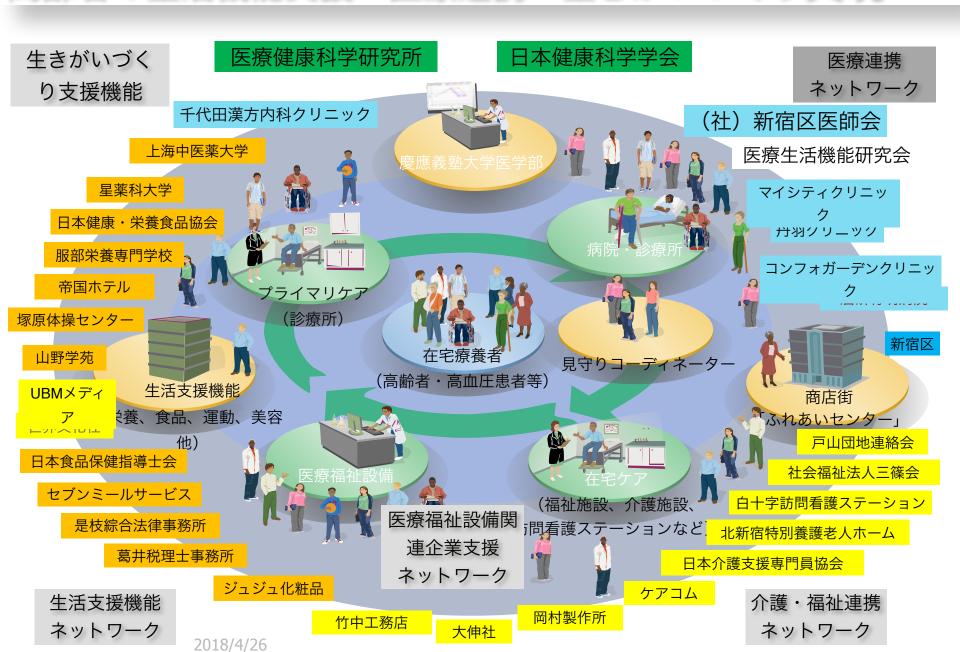
克鞭さんは、

「日常生活

# 病気·孤独死 不安な生活

#### 2018/4/26

## 高齢者の生活機能支援・医療連携・生きがいづくり実現



## 現代社会の課題

- 人々の願い
- ライフスタイル
- ライフステージ
- 日常生活、衣食住
- 栄養状態、食品保健
- フレイル、ロコモティブシンドローム
- 症状、病気、検査、治療
- 現代医療、東洋医学(漢方医学)
- EBM、経験(食、民間療法)、副作用
- 健康増進
- 生きがいづくり、老化、アンチエイジング
- 健康産業(リラクゼーション):睡眠,音楽,音楽療法,読書,温熱,温浴,温泉,クアハウス,サウナ,入浴剤,アロマオイル等